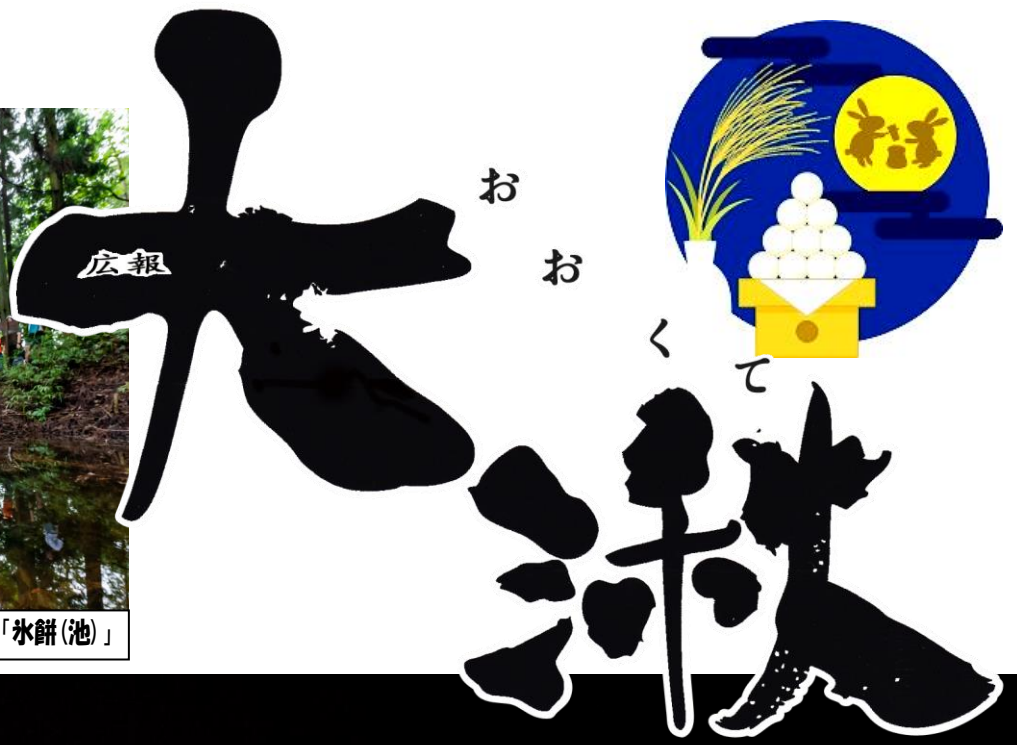


令和元年9月
第398号



マイナスイオンたっぷり本陣山「氷餅(池)」



「大湫町夏祭り」8/3 (土)
盛り上がったねえ・・・！
“学生ボランティアのみんな、ありがとう”

おもな内容	
・「寺子屋」	… P2～P3
・大湫町夏祭り	… P4～P6
・工作教室	… P7
・「志多ら」コンサート	… P8～P9

「寺子屋」で勉強・行灯づくり

7月23・24・25・30日・8月1日の5日間、「寺子屋」がおこなわれました。これは夏休み中の小・中学生を対象とした公民館事業。

梅雨あけとともに「梅雨寒」が一転。一挙に各地で猛暑日。23日こそクーラ一なしの涼風だけで凌げましたが、24日以降は涼しい大湫でも汗が噴き出るような夏の到来となりました。

今年も公民館を会場にして前半の3日間は「勉強」、そして後半の2日間は「あんどんづくり」。



25日は釜戸小学校の補習(?)もあり、参加が少なくなりましたが、子どもの延べ参加者数は32名(「あんどんづくり」を含む)。小学1年生から中学1年生まで参加者は多様でした。

「寺子屋」は狭義の学習だけでない「広い学びの場を提供する場」との考えでおこなわれています。学校と違い授業をする訳ではありません。質問にアドバイス、あるいは机間巡視で間違いを見つけたときに指摘する形式。

みんな宿題や課題を持参して集まります。それぞれが自分のペースで始める自学自習のスタイル。丸つけも自分でします。夏休みの課題には解答も添付されており、自分で○を付けることになっています。

午前中2時間の勉強。でも、これだけの間を集中するのはなかなか難しい。

「終わったー。やることない」

「ほかに宿題残っていない?」「今日、持ってこなかったー」

「じゃー、このプリントの問題をやったら」「・・・」

こんなやり取りも生まれます。

激励やサポートもありました。釜戸小学校の先生が初日に来館し激励。樋田市議が教える側のスタッフの一人として参加。



夏祭りを飾った光のアート、「行灯」

“あんどん”づくりは、竹細工の三浦さん・



三戸さん(神田在住)が講師。事前準備もしっかりしていただいています。



「丸森」施設長や職員、子ども会のお母さんも参加。こちらは大勢の皆さんから応援をいただきました。

フランス(パリ)から来日し、中山道を歩いておられたご夫婦、この日たまたま大湫宿を通過。“あんどん”の描画に飛び入り

参加となりました。思わぬ「日仏合作? あんどん」ができることに。

“あんどん”は8月3日の「大湫町夏祭り」を飾り、辺りが暗くなると“あんどん”に灯がともり、幻想的で光のアートとなりました。夏祭りに訪れた皆さん



から「きれい」「すごいねー」「誰がつくったの」「これってアニメだよ」「本格的だね」などと。



この「広報」が届くころは、もう2学期。たくさんの夏休みの経験を2学期からの学校生活に生

かしてくれることと思います。

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

7月: 49便 延べ77名



青色回転灯防犯パトロール

9月のパトロール予定者

9/月上旬: 大竹頭久, 棚橋雅美

9/月下旬: 松浦大哲, 木村伸哉

大湫町夏祭り 8/3 (土)



「瑞浪七夕祭り」の関係で今年は第1土曜日に開催。さすがに大湫町でも暑い日となった午後2時、関係者の皆さんが汗をかきながらも準備。今年は瑞浪北中学生を中心に高校生



(1名)・中学生(17名)・小学生(2名)のボランティアが参加してくれました。ゲーム・司会・出店そして夏祭りの呼び込みまでお手伝い。町民の中には、若い子の声に家の外まで出て手を振ったり。町内がとても活気づきました。

夏祭り最中に、“ゴロゴロ”。心配しましたが、

祭りの熱気に負けたのか直ぐに退散。踊って、ひろって(餅)、見て(花火)、楽しい夏祭りとなりました。特に今年は町外からも中学生ボランティアの参加が、そして地元中学生全員が参加してくれた事が一番うれしかったです。

ここで、参加してくれたボランティアの皆さんの感想をご紹介します。



初めての参加者

○地域の皆さんの距離が近く、とても面白かったです。機会があればまた来年も行きたいと思います。差し入れとしてたくさんのお茶や食事をありがとうございました。

○ボランティアに参加させていただきありがとうございました。夏祭りはにぎやかでとても楽しかったです。抽選会での商品もごうかでよかったです。ボランティアでは鮎の塩焼きのコーナーでお世話になりました。おじさん方がていねいに説明してくださりとてもうれしかったです。来年も参加したいと思っているのでよろしくお願いします。

○同じ係をして下さった方がとても親切でうれしかったです。最初は心配が大きかったけど、仕事をしていくにつれて、たくさんのふれあいがあ

りとても楽しい時間を過ごすことができました。来年もボランティアに参加したいと思います。

○最初はどう動けばいいのか分からなくて不安だったけど、楽しく活動することができました。鮎の塩焼きおいしかったです。ありがとうございました。来年も参加したいです。

○ボランティアで参加させて頂きましたが、まとまりのある地区だと感じました。催し物の花火、盆踊り等町一丸となった夏祭りを楽しくすごさせていただき、ありがとうございました。

○私は中学生になって初めて大湫のボランティアをして、ボランティアの大変さと感謝される事の喜びを知りました。

私の担当場所は千本引きでした。小さい子供達がたくさん来てくれてお金を受け取ったり景品をわたしたりいろいろする事があって想像より大変でした。でも千本引きのお店に来てくれた子供が景品を取れて喜んでいる姿を見ると私も何だかうれしい気分になりました。大湫の祭りの最後に大人の方が「ボランティアをしてくれてありがとう」と言ってくださりつかれもふっとんだ気がしました。そこであらためて大湫には優しい思いやりのある人がたくさんいるんだなと感じました。今年の祭りは去年と比べてすごく良い祭りになったと思っています。



○私はボランティアで「まとあて」らをお手伝いして楽しかったです。みんなにやさしくやり方など教えました。またやりたいです。(小5)

参加経験者

○毎年、鮎を買う客でしたが、今年は鮎を焼くボランティアとして協力しました。鮎を焼くのは以外と大変でした。その後、自分で焼いた鮎を食べたら今までよりも美味しかったです。来年も参加して、鮎を焼き少しでも大湫に貢献できるように頑張りたいです。

○地域の方と交流ができて楽しかった。先輩・後輩のみんなともボランテ

ィアを通して仲良くなれるので、これからも積極的に参加したいと思いました。

以上

“みんな、ありがとう。来年もよろしく”



- ・釜戸女声コーラス
 - ・中仙道ゴルフ倶楽部
 - ・カタノ・ピッグファーム
 - ・東濃ブロイラー
- “ご寄附をいただきました。ご協力、ありがとうございました”

多くの方々に参加していただき無事に終了することができました。ありがとうございました。

そして、スタッフの皆さん、暑い中での準備から片付けまでお疲れ様でした。

リ・アップ“ひよも”だより

9月のお茶のみ会のおさそい

日時：9月4日（水曜日）

9：30～11：00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

—— お待ちしています ——

大湫町コミュニティ推進協議会

九月の俳句

山口雪子

秋立ちぬ別れの余韻消えぬまま

秋暑し不文律とふ曖昧さ

*とふ||：という

天野辰代

少女期の傷痕きずあと深し終戦日

石門を残して校庭秋小草

「公民館ロビーギャラリー」

9月より、釜戸小学校1年生「うみのなかま」の展示に変わりました。かわいい絵を見に来てください。

工作教室 モビールをつくろう



今年の夏休み「工作教室」(8月10日)は、ゆらゆらと見た目に涼しいモビール作りです。

講師は桐井架奈さん、保育園の先生だけあり、子供の好きそうなかわいい見本を作ってきてくださいました。車やヒコキ、ウサギ、ハート、ロボット等、鮮

やかに吊り下がりきれいです。

当初は講堂で行う予定でしたが、申込みが13名だったので、連日の猛暑を考慮し、クーラーのある第2会議室に場所を変更しました。

当日、なんと申込者の2倍を上回る人達が来て、会議室はギュギュウ。なんとか材料もあり対応ができ、始まりました。講師の桐井架奈さんが、型紙を切って用意してくださっており、3時間余りみんな休憩をとるのも忘れて一生懸命です。このくらい勉強も楽しく熱心にできたらいいのにと、思ってしまう。



出来た作品は、みんなそれぞれ個性的で、楽しいものになりました。

小学4年生の子が、「作るのは想像以上に大変だったけど、想像以上にいいものができた」と、喜んでいました。2才の子のお母さんは、「私のほうが夢中になってし

まった」と。みんなそれぞれの作品ができ、満足そうな顔を見て安心しました。

最後に、「集まろう会」からのスイカをご馳走になりました。記念撮影もし、無事終了。ありがとうございました。

向井保子



「志多ら」太鼓ミニコンサート 8/12



太鼓の響きに感動

今年の五月に大湫町に移住し、「柏屋」で暮らしています。初めて聴く「志多ら」の太鼓演奏は、圧巻でした。

プロのパフォ

ーマンスと太鼓の響きに感動し、思わず九月八日の演奏会のチケットを購入してしまいました。

プロと近い距離で関れたのは、とてもいい機会だなと思いました。

演奏会でも「集まろう会大湫太鼓」とコラボがあるそうなので、そちらも楽しみです。

他にも、カレーを作りながら



地域の人達と交流でき、ご近所さんと意外な接点が発覚するなど、楽しい一日になりました。

稲月結花

一体となった会場

太鼓プロ集団「志多ら」を迎えて、午前中は「集まろう会大湫太鼓」のメンバーに指導して頂き、本番では堂々と『楽』の曲を披露する事ができました。

「志多ら」の皆さんの太鼓の音は心に響きわたり生命の力を感じ、吸い込まれそうになりました。

トークの中では、メンバーの名前を

覚えて呼びかけたりして会場が一体になり、和やかな雰囲気に含まれました。

厨房では、早朝に「集まろう会」の畑からトウモロコシを届けて下さる人や手作りの野菜料理を届けて下さる人など本当にありがたいと思いました。昼食のカレー準備も朝から協力して頂きました。その中には子供をおぶりながら一生懸命お手伝いして下さる方もありました。大湫町の美味しいカレーライスが提供できよかったです。皆さん、ご協力ありがとうございました。

九月八日は「志多ら」のコンサート。タオルを振り回しながら応援します。「志多ら」の皆様、楽しい一日を本当にありがとうございました。

須山教子

素敵な空間

今回初めて参加させていただきました。始めは戸惑いもありましたが、「志多ら」の方が気にかけて丁寧に教えてくださったので、だんだんとリズムが掴めてきました。小さなお子さんから年配の方まで、みんなが楽しめる素敵な空間でした。最後の演奏は、みんなでひとつの『わ』になったように感じられて、とても気持ちよかったです。

「志多ら」の方たちの演奏は、本当にエネルギーが溢れて圧倒されました。またの機会を楽しみにしています！

中津川市30代 女

熱気に包まれた講堂

和太鼓プロ集団「志多ら」のみなさん、感動をありがとうございました。大湫の親子組、釜戸からの家族の方々、

大勢の人達で、講堂が熱気に包まれました。子ども達にも感動と体験の場でした。午後の発表では、ワークショッ
プの成果が発揮され、子ども達の一生懸命さに胸が熱くなりました。

今、大湫の町の中で子ども達の姿を見ることが少なくなって、ほめる場面がないです。こういう時にこそ見に来て下さい。ほめてあげて下さい。みなさんの拍手によって育つていくのです。子どもの頑張る姿を応援してください。

棚橋和代



*大湫宿お休み処

9月の営業は1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日)・23日(祝)・29日(日)です。皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願ひします。TEL:0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

9月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9:00~AM11:00

営業場所 ふれあいセンター



2019年度 第1回「公民館・丸森運営委員会」報告

公民館と「丸森」運営委員会が8月20日、公民館研修室にておこなわれた。委員会には16名の運営委員が参加し、2019年度の事業中間報告と後半の計画が、公民館館長と丸森施設長から報告。

大湫町コミュニティ推進協議会（以下、コミ）会長の小栗司氏からは、「公民館・丸森が市の指定管理に移行されることを受け、コミが管理者となり、丸3年を迎えようとしているが、この間両施設ともその役割を果たすべく関係職員の研鑽と努力により所期の目的が達成されている」との冒頭あいさつ。

1) 公民館報告要旨

「管理運営の基本方針は公民館法に則り、町民に寄与する教育、学術及び文化に寄与する各種事業」をおこなうことを定め、すでに実施された8月までと今後の事業計画について館長から説明。概要は次の通り。

5月におこなわれた「田植え体験」は、町外から多数の参加があり盛況であった。

「シルバー食堂」（5月）は、公民館に集っていただくことや孤食の高齢者への対応と高齢者の栄養を考えた企画であり、「市食生活改善推進協議会」の大きな支援を受けておこなわれ、好評を得た。

各講座の講師は「ふるさと先生」として大湫町民が携わり、隠れた能力の提供をいただいていると報告。今後、「稲刈り体験」や初企画である「ナメコを育ててみよう」「防災講座」が予定されており、これらへの協力が依頼された。

運営委員から「前年度の『大人の社会見学』が新たな知見を得ることができ有意義でかつ楽しめたが、今年度の企画にも期待をしたい」との発言があった。

2) 「丸森」報告要旨

中山道大湫宿の観光案内及び立ち寄り所として認知が高まってきているとともに、従来の一通過点から「ゆっくりする」場所として捉えられ始めている。

地元の学校（武並小学校・中京高校など）からの利用が定着。

「クラブツーリズム」・「旅人企画」・「朝日ツアー」など旅行社からの協力要請もあり、「ジャパンウォーク」（外国人向けツアー）からも定期的な利用オファーを受けるようになってきている。

マスコミからの取材もあり、直近では「U字工事」（漫才コンビ）によるNHK企画の取材があり、9月に放映予定。

一方、課題も少なくなく、「地元へのメリット」をどのように引き出すか、その方法が見えないことや、外来者の増加に伴う「路上駐車」や「観光マナー」も目に付くようになってきている。

交通の便が悪くアクセスに苦労される方も多く、観光利用における「いこCar」運用を検討する必要を感じている。

観光案内事業としてガイドの依頼を「クラブツーリズム」・「赤坂中学(大垣)」などから受けている。「秋祭り」や「大しめ縄作り」などの行事にも積極的にガイドをおこなう。

3) 収支報告とその他の団体からの報告

公民館の支出状況(7月末現在)は、予算額に対して運営費37.6%、管理費13.5%、人件費22.9%。また、丸森の同期の支出状況は、運営費17.9%、管理費41.1%、人件費25.5%であった。

丸森の入館者数は、累計で3407人(今年度)。6、7月は、気候条件が悪く来館者は少ないが、9月以降に多くの来館が予想される。

公民館ロビーの活用を今後も継続して実施する。写真をはじめ手作り作品など町内外の方の写真や絵画・収集品などの作品を展示していく。

長寿会・まちづくり団体(集まろう会・山びこどん・リアップ「ひよも」と自主グループ(おしゃべりサロン「こぶし」)の代表からも状況報告。

およそ1時間半に及ぶ会議の終わりに運営委員長からそれぞれの責任者と関係者へ、ねぎらう言葉があり散会した。

“おめでとうございます！”(市福祉大会より)

◎米寿対象者：桐井八重子さん 三輪里子さん

◎高砂対象者：桐井 徹・勝子ご夫妻 大竹 晃・靖子ご夫妻
伊藤勝佑・美津子ご夫妻 赤岩 紀・かつ子ご夫妻

オススメ！大湫分室の本
『天皇と皇室の秘密がわかる本』

Gakken:刊

新天皇が即位して、新しい時代を迎えた日本。天皇と皇室の成り立ちの歴史をエピソードや写真で紹介。令和のはじめに読んでみたい一冊です。

ご招待券あります(各2名様)

○特別展観

『木曾海道六拾九次之内』

期限：9月23日まで

場所：中山道広重美術館

8月の丸森だより

8月25日まで

訪問者	町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
	224	47	93	25	389	6
					R1,4月～	3,796人
					オープンから	24,778人

(団体等)

- ・NHKBS プレミアムの取材(3回)・・・タレントのU字工事さん・・・放送は9月下旬
- ・8月の中山道歩き旅は、高温注意情報発令や台風関係もあって少ない。

(個人・グループ等)

- ・夏期休暇の利用や大黒屋さんの宿泊が取りやすいことから、この暑い時期に歩かれる方も目立った。
- ・小学生の旅(6年生親子)にも出会った。
- ・これまで、外国の方の8月歩きは無かったが、ことしは3件もあった。

9月の丸森・大湫宿

秋季奉仕作業	9/8(日)	町内全域のため、都合の付く職員で対応
大注連縄作り	9/15(日) (雨天時:16日)	貴重な行事でもあり、見学希望者も募る 参加者があれば、丸森で対応する
ぎふ17宿歩き旅	9/22(日)	大湫から大井宿へのスタート 受付は丸森で対応(当日は敬老会)

10月の丸森・大湫宿


秋祭り	10/6(日)	祭り関係者以外の職員で対応 観光案内を募集する
オオクテ・ツクルテ	10/26(土) 10/27(日)	ぎふ17宿歩き旅に記載(別紙) 観光案内を募集する 観光ボランティアガイドへ依頼

11月の丸森・大湫宿

和宮を偲んで	11月中	ぎふ17宿歩き旅に記載(別紙) 観光案内を募集する 観光ボランティアガイドへ依頼 衣装を着てインスタ映え(侍女・武士・若者)
--------	------	---

中山道ぎふ 17 宿歩き旅

キャッチフレーズ	大湫宿をまるごと知り尽くす！	
タイトル	田舎につくる手集合プロジェクト「オオクテ・ツクルテ」	
紹介文	恒例の若手陶芸家のイベント「オオクテ・ツクルテ」に参加して、素敵な作品を見つけください。 グルメあり、軽音楽あり、ガイド付き散策コース（宿内・琵琶峠・本陣山登山）も用意しています。	
開催日時	10月26日(土)・10月27日(日)	10:00～14:00
参加費 定員	1,500円(グルメ・お土産付き)	10名程度
特典内容	コースを選択して楽しむ ＊自由行動 ＊宿内めぐり(50分コース) ＊琵琶峠コース(90分コース) ＊登山道コース(90分コース)	＊ガイドの説明付き ＊観音堂・山車・神輿が拝観できる ＊昼食付

キャッチフレーズ	令和から江戸の大湫宿へタイムスリップ	 <p>虫籠窓前で</p> <p>昨年の様子</p>
タイトル	和宮を偲び、内掛け・侍女・武士の衣装で変身！	
紹介文	江戸時代の町屋形式をそのまま残す大湫宿からその魅力をインスタ映えしてみませんか。衣装の着付け・記念撮影は丸森邸の職員がお世話します。 お昼は名物のわらじ五平を準備してお待ちしております。	
開催日時	11月3日(日) 11月10日(日) 11月24日(日)	10:00～13:00
参加費 定員	1,000円(五平・お土産付き)	＊内掛け(3名ほど) ＊侍女(3名ほど) ＊武士(3名ほど)
特典内容	＊衣装を着て、町並みで記念写真 ＊お手紙サービス	＊侍女・武士は宿内へも ＊内掛けは丸森内で ＊昼食付

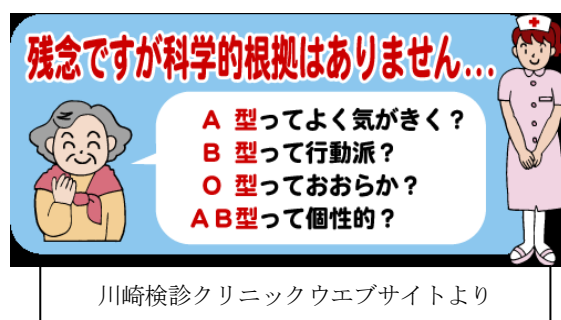
血液型で性格がわかるの？—大人の生物学

「私の血液型はO型」「僕はA型だから相性がいいんだって」
こんな話題で、盛り上がることってありますよね。

“A型は真面目、B型は気分屋、O型はおおらか、AB型はマイペース”。
血液型は性格と関係があるのでしょうか。単純に考えても、A・B・O・ABの4つのパターンに性格を当てはめるのは、どだい無理なこと。それでもついつい「A型だから几帳面なんだヨ」、「ホントかな」と思っても「そんな一面もあるから」と妙に納得。

日本人のABO式血液型は、A:B:O:AB=4:2:3:1の割合（日本赤十字血液センター）。2004年以降、テレビ番組や本・雑誌で血液型と性格の関係性が取り上げられ、ブームとなり、今でも根強く支持されているようです。藤田は『血液型の科学』（祥伝社新書 藤田紘一郎著 2010）で、「血液型により病気にかかりにくさ（免疫力）が異なり、それが性格と関係する」と。

大規模な調査で血液型と性格の関連性が無関係であることが発表*されています。人間の意志、意図が入らないように注意して選ばれた1万人を調査・分析し「血液型と性格は無関連」だとの報告です。



現時点では、血液型と性格の関連性がないことが科学的な定説となっています。

血液型を話題にし、会話が弾むことは楽しい。だが、血液型で自分や相手の性格を決めつけるようなことになれば、看過できない愚かしさと言えます。血液型の分布は国*によってもかなり異なります。血液型には、Rh式・MNSs式・P式などもあり、ABO式だけを性格と結びつけるのは根拠が乏しいのではないのでしょうか。

* 「血液型と性格の無関連性—日本と米国の大規模社会調査を用いた実証的論拠—」

『心理学研究』2014 縄田健悟 京都文教大学

* 米国 A=42 B=10 O=44 AB=4 インド A=22 B=33 O=37 AB=7

農業を

どうする、どうなる

自動車はなくても生きられるが、食料がなくては暮らせない。近年、世界各国では水不足と農地の減少により、農業大国でも農産物の不作が伝えられている。

地球上の人口は、年に一億人ずつ増加しており、今世紀末には百億人を超えると言われている。そんな中で、我が国の食料自給率は40%を切っている。足りない分は海外からの輸入に頼っている。工業製品を生産し、国民は生活が苦しいと言いつつ飽食している。

戦後七十四年間、戦争を放棄して平和に徹して来たお陰である。その戦争を体験した人達は高齢化し、戦争の悲惨さを知る人は少なくなるばかりである。

子や孫に戦争の残酷さを話しておく必要があるが、豊かな生活にどっぷり漬かった現代の子供達には判らない。日本人の戦没者は三百万人を超えると言われて

いるが、食料不足で餓死した人が多く、「食べる物が何もなかった」と、悲惨な話をされる。

戦争の話とは別にして、地球規模の温暖化現象で、農作物の不作が懸念されている。農業大国が不作になれば、たちまち地球上の食料は枯渇してしまう。食料が戦略物資に使われる心配もある。

農産物の貿易自由化問題が話し合われているが、消費者は少々高くても安全で安心して食べられる食品を望んでいる。世界の平和のために必要欠くべからざる事である。

食料供給と共に、農業大国にはモラルある生産を望みたい。安全な農産物や畜産物の需要に見合った生産を望むものであるが、食料生産は儲からないと言う。遺伝子組み換え小麦を作ったり、広大な農地で栽培する小麦や大豆に、大量の除草剤を散布したりする農業が行われている。畜産物にしても、肥育促進剤を使う

など、肉や卵を少しでも安く販売しようとしている。国産の畜産物や農産物では、安価なアメリカ産に太刀打ち出来ない。そして農薬を大量に散布した大豆は殆ど油をしぼり、滓は飼料として売られている。カナダの小麦、ブラジルの大豆、オーストラリアの小麦も、除草剤を散布して輸出されている。アメリカのカルフオルニア米が安く日本に輸出されれば、日本の米作りは採算が合わないと言われている。

その米国で「小農方式」が見直されている。オーガニック食品に関心を持っていたアメリカ在住の孫が、昨年日本各地で小規模の農家を訪れ勉強して帰った。今年は、政府の小農の支援員としてハワイに就任することになった。私の「自然農法」にも興味を持っており、話し合うことが出来るのを楽しみにしている。

文責 天野長三郎



おしお 2019年 せら 9月の集まるう会

大湫町コミニ
ティ推進協
議会
集まるう会

☆ 9月の太鼓は.....

◎ 9月8日(日)の志多ら瑞浪公演における連絡

～ 当日の参加出演(楽)希望者について ～

- 9月7日(土) 事前ワークショップがあります。麗澤瑞浪高校にて。(中学校になるかも知れません)、14:30～16:30です。
- 9月8日(日)当日、共演企画(楽)リハーサルあります。14:00～ 瑞浪文化センターです。
- 当日の共演希望者は、9月2日までに、棚橋(電63-2861)まで、連絡下さい。(すでに、伺っている方もあります)

◎ 出演者の服装は..... 当日持ってくる。

(大人) 黒の長ズボン、黒の短くつ、白Tシャツ、バチ、法被は、こちらで用意します。

(子ども) 法被、短ズボン(学校使用のもの)、白Tシャツ、腰ひも、はちまき、たすき、黒の短くつ、バチ

* 未就学児童出演の場合は、親も参加します。

* 詳しい事は、3日の実行委員会後に、連絡します。

◎ 通常の練習は... 9月7日(土) 9:30～その後昼食会

(きばあた瑞浪の出演料を、使わせてもらいます)

9月21日(土) 9:30～11:00、その後、おじいさん、おばあさんと、市役所の方のお話しを、一緒になりそうです。

9月14日(土) 18:00～ 大湫公会館にて、志多らの先生による太鼓指導があります。

かしわや 営業... 9/14、9/21 お値うちに合わせてます!!

区長日記

収穫祭には鎌を片手に、皆でいい汗をかきましょう！

区長会長 足立

各地区の夏祭りも順次開催され、子供たちの夏休みも駆け足で過ぎ去って行きました。台風十号の襲来を挟んで、不安定な天候が続き、落ち着かない帰省の夏となり、各夏祭りの会場も少し人出が少なかった様にも見受けました。

「帰省」とは、故郷へ帰って親の安否をよく確かめてみるのだそうですが、確かめた結果によっては、どう支えて行ったらよいのか、都会で暮らすご子息にも物心両面でのサポートを考えていただきたいと思えます。親は子供に心配を掛けたくない一心で気丈にふるまうかもしれませんが、老いて心身が衰えていくことは自然の摂理、子に負担を掛けることも、世代を受け継ぐ際の人間教育の一環でもあるのではないのでしょうか。

野田の稲穂も頭を垂れ、初秋の風に揺れています。大嘗祭献穀米生産田のコシヒカリも、みんなの農園のココノエモチも、自然の力を味方に付けて、私たちに幸多き収穫の秋を与えてくれることを願っています。

8月2日 定例区長会・幹事会

3日 大湫町夏祭り

4日 「私の好きな大湫」写生大会

7日 「ひよも」防災食体験

10日 夏休み工作教室

12日 「志多ら太鼓」ワークショップ

15日 戦没者慰霊祭

17日 大湫町景観協議会・神田区夏祭り

18日 炭焼き小屋整備事業

20日 公民館運営委員会

23日 市長と語る会

24日 足又区夏祭り

25日 消防団市長特別点検

26日 パターゴルフ場整備作業



令和元年九月行事予定

日	曜	予	定
日			
一	日	市総合防災訓練	
二	月	財産区全員会議	
三	火	リ・アップ「ひよも」	
四	水	定例区長・幹事会	
五	木	市長寿クラブ連合会福祉大会	
六	金	集まろう会太鼓練習	
七	土	秋季奉仕作業	
八	日	才オクテ・ツクルテ実行委員会	
九	月	竜吟幼稚園祖父母参観日	
一〇	火	おしゃべりサロン／かしわや営業	
一一	水	集まろう会太鼓練習	
一二	木	大杉大しめ縄づくり(雨天一六日)	
一三	金	*敬老の日	
一四	土	瑞浪北中学校体育大会	
一五	日	景観住民会議／集まろう会太鼓練習	
一六	月	長寿会(奉仕作業)	
一七	火	大湫町敬老会	
一八	水	*秋分の日／みんなの農園稲刈り	
一九	木	山びこどん(布ぞうりづくり)	
二〇	金	おしゃべりサロン／かしわや営業	
二一	土	釜戸小学校運動会	
二二	日	モニタリング調査／広報委員会	

今月の資源ごみ: 9/18(水) 不燃ごみ: 9/5(木)

編集後記

皆様、夏休みはいかががでしたか？年々暑さが増すような・・・でも、気が付くと日が昇るのも日が暮れるのもなんだか早まってきたような。

これからは夏バテならぬ、秋バテ対策が必要ですよ。季節や環境の変わり目は、乗り越えるのが大変。

早寝早起き・食事のバランスを整えて乗りきりましょう。・・・y

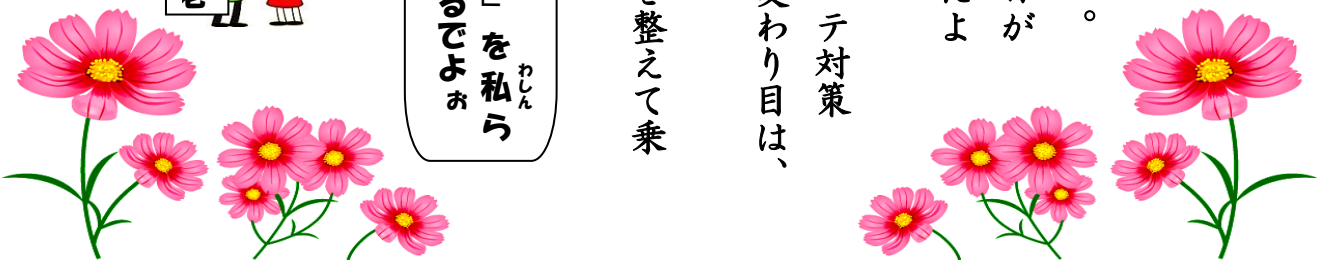


9月は「体育大会」や「運動会」が待ってるよ



頼むにいら

「大湫町敬老会」を私(わしん)ら楽しんでしとるでよ



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和元年9月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>

表紙：写真 棚橋哲夫氏